

皆が笑って楽しめるリハビリを提供する デイサービス兼訪問看護ステーション



株式会社 わらく
笑楽 訪問看護リハビリステーション
リハビリデイサービス 笑楽

〒 515-0313
三重県多気郡明和町明星 971-1
URL <https://www.waraku-rehabili.com/>

Company data

代表取締役 / 施設長 / 作業療法士

田中 優志

作業療法士の資格を取得し、病院や老人保健施設で経験を積んだ後に独立。(株) わらくを設立し、現在に至るまで、「笑って楽しめる」リハビリに特化したデイサービス兼訪問看護リハビリステーション「笑楽」を展開している。

Personal data



小倉 リハビリに特化したデイサービスと訪問看護を展開されているという、(株) わらくさん。田中社長は、もともと独立願望が強かったのでしょうか？

田中 私の父が教員で体操教室も経営していたのですが、事業を手伝うことができず、後悔がずっと残っていたんです。そのため、いつかは経営者という気持ちが芽生えるようになっていきました。

小倉 そうだったのですか。リハビリの世界に入られたのには何かきっかけが？

田中 大学の時に部活動（体操部）でケガをし、病院の作業療法士のリハビリを受けた経験からスポーツや生活をするうえで体の使い方に興味を持ち、作業療法士を目指すきっかけになりました。そのことから当施設を立ち上げ、現在はリハビリに特化し、訪問看護とデイサービスの両軸を展開しています。

小倉 リハビリに特化した施設というのは、なかなか珍しいように感じます。

田中 ええ、何かしら他にはない特長を持ちたいと独立当初から考えていて、病院の外来リハビリの代わりになるようなリハビリサービスをしたいです。理学療法士や作業療法士、看護師などの各分野の専門スタッフが常駐し、一人ひとりに合わせた質の高いケアを提供しています。訪問看護という訪問型とデイサービ

スの通所型の2軸があることも、当社ならではの強みだと感じていますね。

小倉 充実したお仕事ぶりがかえませんが、どういったところにやりがいを感じられていますか？

田中 一番はやはり、利用者さんに楽しく、笑顔で過ごしてもらえるということです。リハビリも、楽しくなければ続きませんからね。それはスタッフに対しても一緒に、楽しく仕事が続けられる環境づくりは常に意識しています。

小倉 皆さんが共に楽しめる環境づくりというのは、何より大切ですね。

田中 働き方改革が浸透していますが、当社は「休み方改革」についても考えています。皆がのびのびと働ける職場をつくることで、スタッフが休まなければならなくなった時にもフォローできるように

体制を整えているんですよ。

小倉 スタッフの方々にとって働きやすい職場であることが、利用者さんにとっても過ごしやすい場所になるのでしょうか。今後の展開についてはいかがでしょうか？

田中 父の思いを継ぎ、体操とリハビリを合わせた子ども向けデイサービスにも挑戦したいと考えています。障がいのある子どもたちを、体操を通じて明るく元気にしていけたらな、と思うんです。

小倉 最後に、これから出会う利用者さんへのメッセージをお願いいたします。

田中 当社のモットーは、「笑って楽しく、リハビリを提供し、生活復帰のサポートをしたい」ということ。この軸を一貫して、今後も多くの方に利用していただける施設を維持してまいります。

Guest Comment

小倉 隆史 (元プロサッカー選手)

多くのデイサービスがある中で、いかに利用者さんと従業員さんが笑って、楽しんで過ごせるかを重視されている田中社長。お話からはそうしたこだわりと思いがはっきりと伝わりました。今後も地域に根付く施設として、より多くの方の健康を支えていってください。私も今後のご活躍を応援しています！

